

平成 25 年 8 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
 (コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
 問合せ先 執行役員 横山 幸弘
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

平成 25 年 9 月期第 3 四半期決算における主要トピックスについて
 ～ファイナンス事業の売上高が大幅拡大～

当社は平成 25 年 8 月 14 日に第 3 四半期の決算発表をいたしました。主要なトピックスについて下記に解説させていただきます。株主及び投資家の皆様におかれましては引き続き当社の事業に関してご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

<総括> ファイナンス事業の成長が牽引し増収増益

- ・ファイナンス事業の売上が大幅伸張
- ・国内コンテンツ事業は苦戦

(単位：千円)

	2012年9月期 第3四半期	2013年9月期 第3四半期	対前年比
売上高	2,419,212	3,533,668	146.1%
営業利益	604,637	735,653	121.7%
経常利益	661,284	821,059	124.2%
当期純利益	172,598	614,367	356.0%

<セグメント別業績と主な事業トピックス>

(単位：千円)

報告セグメント		2012年9月期 Q 3	2013年9月期 Q 3	前年同期比
ファイナンス事業	売上高	1,562,791	2,907,625	186.05%
	セグメント利益	584,846	870,018	148.76%

● ファイナンス事業： 営業拡大が持続、増収増益に

- 前年下半期から続く新規契約増は1年を超えていまだ拡大傾向が持続、累計契約数も大幅に増加
- ポートフォリオ（貸付残高）から生み出される売上高が大きく伸張、累計期間の売上高は前期比で86%の拡大へ
- 事業規模拡大に伴う各種費用の増加があるものの売上高拡大が持続することで利益も大幅成長

- カンボジア事業が連結を開始、次第4四半期の業績より収益取り込みを開始
- 今後ファイナンス事業は増加傾向にあった費用を低減し、売上高拡大とともに利益率向上を図る方針
 - ◇ 蓄積された契約獲得により、今後も順調な売上高増加傾向を見込む
 - ◇ さらに地域的な拡大を強化、新規ディーラー獲得による契約増策に今後も取り組み、成長を追求
 - ◇ 拡大された営業網での与信審査水準の厳格化により、債権の質を向上
 - ◇ バックオフィスの拡充による債権回収を強化し、費用を圧縮

(単位：千円)

報告セグメント		2012年9月期Q3	2013年9月期Q3	前年同期比
コンテンツ事業	売上高	541,487	447,510	82.64%
	セグメント利益	206,886	77,083	37.26%

● **コンテンツ事業： 苦戦続き、低調に推移**

- カードゲームのロイヤリティ収入の低調が続き収益を圧迫
- 書籍編集事業でも顧客の出版点数減少と部数減が目立ち、売上高減から稼働率が低下
- 音楽事業は売上高確保も費用が高み利益は伸び悩み
- 新規案件として新規カードゲーム開発の売上高を計上、今後も継続的売上高を期待
- 現在コンテンツ事業は収益源の開拓を推進中
 - ◇ カードゲーム関連売上高の領域拡大
 - 新規の開発受託案件と関連サービス拡大の両面で追求
 - ◇ スマホ系アプリ、SNSゲーム関連売上高など、増加傾向が見られる新たな顧客層との取引を拡大へ
 - ◇ 音楽事業は音楽関連商品、ライブ運営など、関連収入の拡大にも注力

以 上